



大空の心虹はと見ると

作 鄭 義 信
演出 松本祐子

柳 木 清 鷓
橋 津 水 澤
朋 誠 水 明 秀
典 之 彦 彦 行
山 川 山
本 合 森
道 耀 大
子 祐 輔

美術 乗峯雅寛
照明 金英秀
音響 藤平美保子
衣裳 山下和美
舞台監督 岡野浩之
演出補 所奏
制作 友谷達之



あなたも会員になってお芝居と出会ってみませんか

8 月 開 演	金沢市文化ホール	
	7日(金)	8日(土)
	6:45	1:30

定期的に年6本のお芝居との出会いをつくる金沢市民劇場(演劇鑑賞会)へお誘いします。詳しくは、**事務所までお電話を**。金沢事務所 076-263-5057 野々市事務所 076-294-1488
■会費は1ヶ月一般 2500円・23歳以下 1500円・18歳以下 1000円です。入会金は600円です。ご入会の際には、お一人ごと2ヶ月分の会費と入会金が必要です。一年間は継続してご観劇下さい。



演劇鑑賞会の皆さま

このお芝居は、かつては各都市にあった町の映画館に集う人たちの物語です。それぞれに大なり小なり問題をかかえた人たちが、人とふれあうことで変っていきける。他者とかかわってついた傷は他者とかかわることでは癒やされない。鄭義信のやさしさとユーモアに包まれた怒りを届けたのです。届けたいメッセージがあつて、それを受け止める観客がいる。劇団と観客が劇場で対話できる舞台こそが、演劇鑑賞運動としての例会です。大いに語り合いましょ！

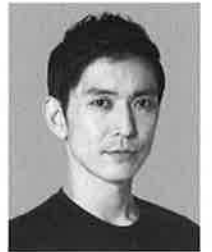
文学座公演

大空の虹を見ると 私の心は躍る

舞台は地方都市の繁華街のはずれにぼつんとある、廃館間際の映画館「新星劇場」。館主は安田均(清水明彦)。取り壊しが差し迫る中、息子映一(柳橋朋典)の友人・菅原太一(木津誠之)が東京から片付けを手伝いに来ている。

先代の館主・安田善蔵(鶴澤秀行)は、亡き妻と映一の弟・映都の思い出が染み付いているこの劇場を愛おしみながら同じ話を繰り返す。映画館の従業員・浜田福子(頼経明子)は、次の職場に向けて活動中。近所に住んでいる佐々木須美江(山本道子)はまだ一度もここで映画を見たことがない。映写技師・大野守は安田家と深い関わりがありそんな謎の男。それぞれが切なさと輝かしさを湛えながら生きている。

—最終上映まであと数日。



柳橋 朋典



木津 誠之



清水 明彦



鶴澤 秀行



頼経 明子



山本 道子



川合 耀祐



山森 大輔

劇評から

文学座のチーム力に目を見はる。2時間に満たない小編ながら、閉じられる映画館の人間模様がおかしくも切なく浮かびあがる。鄭義信の書き下ろし。さりげないセリフに人間の地肌を刻みこむ作風だけに、演技の燃焼が大切になる。これまでもコンビを組んできた松本祐子の演出が自然な演技の伝統を生かし、哀感を笑いにくるめて描きだしたのは収穫だ。

(日本経済新聞)